

文化庁国際シンポジウム

「現代芸術アーカイブの構築に向けて—— 保存・発信・活性化」

2017年1月14日（土）13:00～18:00（12:30開場）慶應義塾大学（三田）南校舎ホール
無料／要事前申込み／定員200名

【Website】 <http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/contemporary-art-archive/>

【Facebook Event】 <https://www.facebook.com/events/224277878018635/>

現代芸術を射程とするアーカイブ、あるいは現代作家のアーカイブは何を保存・蓄積すべきか。その範疇や作法はどうあるべきか。そしてさまざまなリソースをどのように活用し、いかにして新たな価値・関係性を創出するか。アーカイブの構築においては、単に資料の保全を確保するだけでなく、積極的な供用の手段を確立することでその重要性を外部へ発信すること、そして刺激的な研究や多様な創造的実践の促進に資する文脈にアーカイブを位置付けることが重要です。

本シンポジウムでは、海外から招いたキーノートスピーカーと、芸術のさまざまな領域を対象に、いままさにアーカイブの構築と発信という課題に取り組んでいるチームを招いて、ディスカッションと事例紹介を行います。

タイムテーブル

第1部 基調講演

- ファラ・ワルダニ（シンガポール・ナショナル・ギャラリー、リソース・センター副所長）
The Importance and Challenges of Art Archiving in SEA Art and Society
- ジョー・メルヴィン（バリー・フラナガン・エステート、ディレクター／ロンドン芸術大学アーカイブ・特別文庫担当講師）
Sculpture from soft to hard and back again...Barry Flanagan and his contemporaries
- ディスカッション

第2部 ケーススタディ

セッション1：日本からの現代芸術発信に向けて

具体美術協会 高柳有紀子（大阪新美術館建設準備室）

もの派 多摩美術大学 + 埼玉県立近代美術館

1970年代アートの記録—Video Information Center を中心に 本間友（慶應義塾大学アート・センター）

セッション2：アーカイブのキャリアパス

佐賀町エキジビット・スペース 小池一子

デザイン・アーカイブ 並木誠士（京都工芸繊維大学）

草月アートセンター 米田竜介（一般財団法人草月会）、久保仁志（慶應義塾大学アート・センター）

建築アーカイブ 藤本貴子（文化庁国立近現代建築資料館）

ポスター・セッション

最終ディスカッション

お問い合わせ

（株）富士通総研 fri-zaiken50@cs.jp.fujitsu.com